

◆七夕◆

今日は七夕。
あらためて「七夕伝説」のストーリーをたしかめてみました。

織姫（織姫星：こと座のベガ）は天帝の娘で機織の上手な働き者。
夏彦（彦星：わし座のアルタイル）も働き者。
天帝は二人の結婚を認め、めでたく夫婦となったが夫婦生活が
楽しく、織姫は機を織らなくなり、夏彦は牛を追わなくなった。
怒った天帝は、二人を天の川を隔てて引き離す。
が、年に1度、7月7日の夜だけ逢うことをゆるした。

大まかな筋はだいたいこのようなものですが、地域や本によって、

- ▼七夕の夜、雨が降ると天の川が氾濫して逢えない
- ▼雨が降るとカササギが橋渡しになって逢うことができた
- ▼雨が降るように祈る

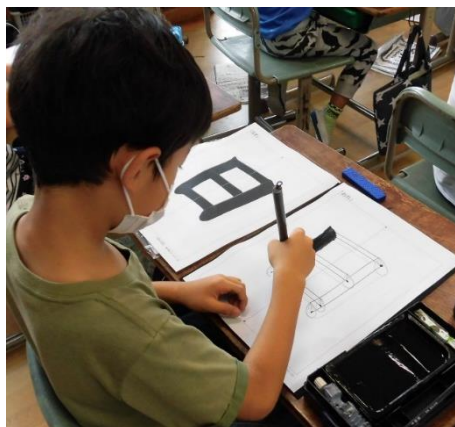
というように違いもあるようです。

七夕の異名は「星合い」。

また、7月7日に降る雨は織姫と夏彦が流す「催涙雨（さいるいう）」とも呼ばれるそうです。

今日も強い日差し。夕方には雨が落ちる、という予報も出ています。

織姫と夏彦の出逢いは叶うでしょうか。



右の写真は3年生の教室。
習字の学習をしている子どもたち。
3年生から始まった毛筆。
子どもたちは始筆、終筆に気を配りながら
慣れない筆を運び、丁寧に、丁寧に文字を
かたちづくっていきます。
字の形や大きさ。
毛筆で学んだことが、ふだんの文字に活かされます。
七夕の今日。
願い事を丁寧に、丁寧に短冊にしたためていく子の
ようすを思い浮かべるとなんだかほっこりします。